

客観的な指標の算出方法

学生の知識、技能の習得度を計測するための試験を実施し、結果は数値で表現して評価する。

1. 学科試験

学科試験は年に2回定期試験を実施。

各教科ごと100点を満点とする試験であり、60点を合格（一部の教科は70点）とし、合格点に満たない場合、合格点に達するまで、補講、レポート提出、追試を繰り返す。合格点を満たせず単位が取得できない、進級できないという結果に陥らないようにしている。

2. 実技試験

実技については、随時適切な時点で達成度を確かめるための試験を実施。

試験内容や方法は、科、コースで内容が異なるが、いずれも達成度は数値で表現される。ここでも、合格点に満たない場合、合格点に達するまで、補習、追試を繰り返す。合格点を満たせず単位が取得できない、進級できないという結果に陥らないようにしている。

3. 総合評価

半期ごとに、学科 および 実技で実施した成績を集計し、

- ・上位1/4の者を 「優」
- ・下位1/4の者を 「可」
- ・「優」と「可」との間の者を 「良」

とし 総合的な順位付けに利用している。

特に「優」は、その年度における優秀賞選考の指標に利用している。

また、試験での上記の評定に加え、出席状況等を加味し、精勤賞、皆勤賞など補足的な賞を設定しており、学生のモチベーション向上に役立てている。

4. 学生の認知

各試験結果は採点后しばらくの期間掲示し、学生は全体の中での自身の位置を把握できるようにしている。

また達成できている点、改善すべき点を理解し、以降の努力目標をより明瞭に認識できるよう役立てている。